

## 三河港の地震・津波対策について考える

日時:2015年5月14日(木)10:00~15:00

集合場所:ライフポートとよはし

主催:第四管区海上保安本部三河海上保安署

共催:豊橋市・豊橋商工会議所

後援:豊川市・蒲郡市・田原市・豊橋技術科学大学・愛知大学・愛知工科大学  
特定非営利法人東海リスクマネジメント研究会

### 【趣旨】

第四管区海上保安本部三河海上保安署主催の南海トラフ巨大地震による津波被害等に対する港湾の防災・減災を推進することを目的とした海上からの視察会及びセミナー。

### 【報告】

第1部は、本イベントの主催・共催・後援に名を連ねる各機関の代表者約30名で海上保安署の巡視船に乗せていただき、三河港を時計の針と反対回りに、御津地区⇒蒲郡地区⇒田原地区⇒明海地区⇒神野地区と回り、各地区の企業団地・岸壁を視察しました。



第2部では、ライフポートとよはしの男女共同参画センターにて、第1部に乗船した参加者で、意見交換会が行われ、三河港が思っていたよりもずっと狭いことや一般市街地との地理的な距離や構成企業など企業団地ごとに特色があることなどが、陸地側からではわからない新たな気づきとして参加者間で共有されました。また、意見交

換会のコーディネーターを務めた齊藤大樹・豊橋技術科学大学安全安心地域共創リサーチセンター長より、三河港を共有する企業団地間でより積極的に連携を図っていくことが必要ではないかとの意見が出されました。

第3部では、第四管区海上保安本部海上情報部の黒川氏より、津波防災情報の読み方に関する講演が行われました。また、豊橋市危機管理課の河合氏より、市で現在整備している台風が来襲した際のタイムラインに関する講演が行われました。

